Jems News
No. 154
2025 年 5 月 15 日
日本環境変異原ゲノム学会
https://www.j-ems.org

＊＊＊＊＊　学会・シンポジウム開催のお知らせ　＊＊＊＊＊

「日本環境変異原ゲノム学会 第54回大会 静岡」のお知らせ

大会会長：伊吹 裕子（静岡県立大学）

日本環境変異原ゲノム学会第 54 回大会は, 2025 年 11 月 22 日・23 日に静岡県立大学（草薙キャンパス）にて開催いたします.

本大会では,「老化」,「健康長寿」,「ゲノム変異」をキーワードに, 将来に向けた新たな展開を見据えて, 特別講演およびシンポジウムを企画しております. 大会初日には, 老化細胞除去（senolysis）研究の第一人者である中西真先生に特別講演をいただく予定です. また, 大会を通して 3 つのシンポジウムを開催するほか, ポスター発表形式による一般演題も広く募集いたします. その一部については, 講演会場での口頭発表の機会も設ける予定です. 初日夜には参加者同士の交流を目的とした情報交換会を行います.

大会翌日の 11 月 24 日には, 同じく静岡県立大学にてサテライトミーティングの開催を予定しております.

今後の進捗につきましては, JEMS News, 大会ウェブサイト, メールマガジン等を通じて随時ご案内いたします. 会員の皆さまのご参加を心よりお待ち申し上げるとともに, 大会へのご協賛につきましてもご検討・ご協力のほど, 何卒よろしくお願い申し上げます.

1. 日程
   2025 年 11 月 22 日（土）～11 月 23 日（日）
   理事会および評議員会, 研究会定例会は前日 11 月 21 日（金）に予定.

2. 会場
   静岡県立大学　草薙キャンパス（〒422-8526　静岡市駿河区谷田 52-1）
   https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/

3. 大会テーマ
   「超長寿時代を見据えてーゲノム変異と発がんの新知見ー」

4. 特別講演
   中西 真 先生（東京大学 医科学研究所 所長）

5. シンポジウム（敬称略）
   シンポジウム１「ライフスタイルと発がん・遺伝毒性～外因性化学物質によらない影響を考える～」
   世話人：豊岡 達士, 里本 健輔
   講演者：大塚 基之（岡山大学 学術研究院医歯薬学域）, 岡本 誉士典（名城大学 薬学部）, 河井 一明（産業医科大学 産業生態科学研究所）, 呂 玉泉（大阪大学 大学院医学系研究科）

   シンポジウム２「老化と発がんにおける新知見」
   世話人：小牧 裕佳子
   講演者：高橋 暁子（公益財団法人がん研究会 がん研究所）, 藤田 恭之（京都大学 医学研究科）, 吉田 健一（国立がん研究センター研究所）, 佐々木 貴史（慶応義塾大学 薬学部）

シンポジウム３「三次元組織モデルを活用した遺伝毒性研究への期待」（仮）
世話人：橋爪 恒夫，小山 直己，吉田 唯真
講演者：足利 太可雄（国立医薬品食品衛生研究所）, Stefan Pfuhler（Procter & Gamble），橋爪 恒夫（日本たばこ産業），（一部未定）

6. サテライトミーティング　2025 年 11 月 24 日（月・祝日）
世話人：小山 直己（中外製薬株式会社），橋本 清弘（武田薬品工業株式会社）
静岡県立大学での対面とウェブ配信を組み合わせたハイブリッド形式で実施. QSAR の世界的リーディングカンパニーである Lhasa 社や MultiCASE 社から専門家を招き，ニトロソアミン不純物に関する講演を予定.

7. 情報交換会
11 月 22 日（土）夕刻～
ホテルグランヒルズ静岡（https://grandhillsshizuoka.jp/）

8. 実行委員
小牧 裕佳子（大阪公立大学）
小山 直己（中外製薬株式会社）
里本 健輔（石原産業株式会社）
島村 裕子（静岡県立大学）
豊岡 達士（独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所）
橋爪 恒夫（日本たばこ産業株式会社）
濱田 修一（株式会社ボゾリサーチセンター）
増田 修一（静岡県立大学）
吉田 唯真（Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社）

9. 運営事務局
株式会社センキョウ
担当：長谷川 美貴，岩淵 あやか
〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町 2-4-2
Tel: 022-236-7161 fax: 022-236-7163　Mail: jems2025@senkyo.co.jp

10. 大会 web サイト
https://www.jems2025.jp

2025 年度（令和 7 年度)日本環境変異原ゲノム学会公開シンポジウム
「科学が解明する日常生活の安全性」

革新的な科学技術の発展に伴い，私たちのライフスタイルが大きく変化し続けています．日常生活と密接に関係している医薬品や食品，室内環境には，化学物質，細菌・ウィルス，放射性物質を要因とする化学的・生物学的・物理学的影響による潜在的リスクが存在しています．一方，地震や豪雨などがもたらす自然災害は，原発事故のような物理的な被害のみならず，化学物質や放射線による健康被害を及ぼすため，健康危機に的確に対応できる体制整備が喫緊の課題とされています.

昨今，機能性表示食品による健康被害が社会問題の一つとして報道などで大きく取り上げられました．健康被害における原因究明は，検証を進めつつ，科学的事実を踏まえた再発防止策など，消費者の共感を誘う施策が必要と感じます.

本シンポジウムでは医薬品，食品，および，住環境など日常生活における安全性についての科学的知見を一般市民に分かりやすく紹介し，理解を深めることを目的に，JEMS 会員に加えて，誰でもが参加できる市民参加型の企画としたいと思います. 当日は島津製作所施設ラボツアー・島津装置紹介の企画に加えて，シンポジウム後には，会場隣のギャラリースペースにて演者を囲んだ情報交換会の開催を予定しています．沢山のご来場お待ちしております.

- 日時：2025 年 6 月 14 日（土）13:00~17:00
- 開催場所： Shimadzu Tokyo Innovation Plaza メインホール
（神奈川県川崎市川崎区殿町 3 丁目 25-40 株式会社 島津製作所）
- アクセス：京急大師線 小島新田駅より徒歩 12 分
京急空港線・東京モノレール 天空橋駅よりバス / タクシー10 分

Shimadzu Tokyo Innovation Plaza メインホール

世話人：津田 雅貴（国立医薬品食品衛生研究所 ゲノム安全科学部），小山 直己（中外製薬株式会社）
開催形式：現地およびオンラインのハイブリッド形式
参加費：無料，事前申込要（会員・非会員の別を問わず，どなたでも聴講いただけます）
https://forms.office.com/r/cTZuaJPNFa

締切 5 月 23 日（金）
締切後の参加登録については世話人にお問い合わせください： koyama.naoki21@chugai-pharm.co.jp, tsudam@nihs.go.jp
協賛：公益社団法人 日本薬学会
後援：一般社団法人 日本毒性学会

プログラム

13:00-13:05
開会の辞　松田 知成（日本環境変異原ゲノム学会会長/京都大学）
13:05-13:10
はじめに　世話人　小山 直己

【セッション 1: 医薬品や食品の安全性】

13:10-13:45　本間 正充 先生（国立医薬品食品衛生研究所）
食べても大丈夫？ 医薬品や食品に含まれる化学物質の安全性
13:45-14:20　広瀬 明彦 先生（化学物質評価研究機構）
PFAS（有機フッ素化合物）による健康影響とは
14:20-14:35　休憩
14:35-15:10　堤 智昭 先生（国立医薬品食品衛生研究所 食品部）
放射性物質と食の安全～福島第一原子力発電所事故後の取り組みと現状～
15:10-15:30　株式会社 島津製作所 装置紹介
15:30-15:45　休憩

【セッション 2: 生活環境と健康リスク】

15:45-16:20　東 賢一 先生（近畿大学 医学部）
室内空気および大気中におけるホルムアルデヒドの健康影響について
16:20-16:55　渡辺 賢二 先生（静岡県立大学 薬学部）
大腸菌が作り出す毒素と大腸がん
16:55-17:00　おわりに　世話人　津田 雅貴

第8回アジア環境変異原学会

第8回ACEM（Asian Conference on Environmental Mutagens）の主催者と開催時期が決まりました.

- 時期：2027年2月
- 主催：タイ王国Silpakorn大学 薬学部（https://www.su.ac.th/en/）
- 大会長：Dr. Pornsak Sriamonsak（Silpakorn大学 薬学部長）

開催時期は，タイの気候や中国の春節との調整を考慮したうえで設定されました．詳細な開催日やプログラム等は，今後の案内をお待ちください．

第14回国際環境変異原学会

第 14 回 ICEM（International Conference on Environmental Mutagens）の準備状況について

- 日時：2026 年 9 月 6 日（日）～9 月 10 日（木）
- 場所：英国エジンバラ　EICC

ICEM2026 におけるシンポジウム構成について，各国の変異原学会から 2 月に提出された Expression of Interest（EoI）をもとにプログラム委員が評価を行い，その結果をもとに ICEM 実行委員会が選定作業を進めています. 4 月末を目途に，プログラムの枠組みが決定される予定です．なお, JEMS からもプログラム委員が選出されており，シンポジウム案の検討に参加しています.

ICEM 2026

Sun 6th – Thur 10th September 2026

Venue: The EICC, Edinburgh, UK

www.icem2026.org